平成２３年５月３０日

東海道・山陽新幹線車両　Ｎ７００Ａの概要及び投入計画について

　当社では、７００系の置き換え車両としてＮ７００系以降の技術開発成果を採用した、Ｎ７００Ａ（Ｎ７００系１０００番代、「Ａ」は Advanced の略）を下記のとおり製作、投入します。Ｎ７００Ａへの置き換えにより、さらなる省エネルギー化を実現します。

１．Ｎ７００Ａの特徴（別紙）

（１）さらなる安全安定輸送の実現

・中央締結ブレーキディスクの搭載
　安定した、より強いブレーキ力を実現

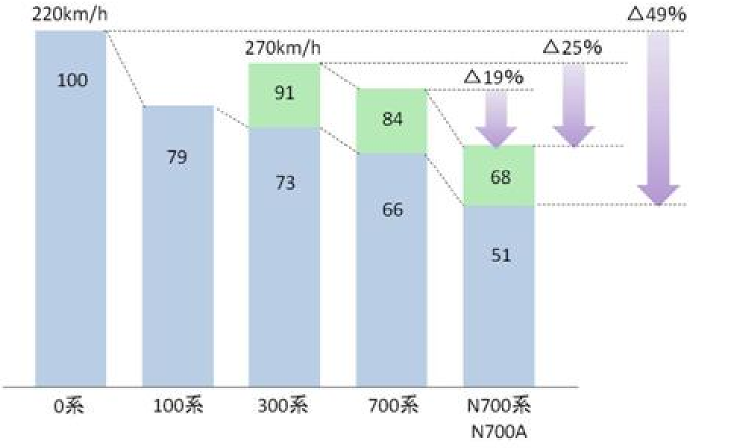
・台車振動検知システムの搭載
　さらなる信頼性向上のため、全台車の状態を常時監視

・定速走行装置の搭載
　ＡＴＣ信号に沿った、より安定した運転を実現

（２）７００系との置き換えによる省エネルギー化

　Ｎ７００ＡはＮ７００系と同等の省エネルギー性能を有しており、７００系から置き換えることで、編成あたりの比較で１９％の電力消費量の削減になります。

（参考）東海道新幹線の車種別電力消費量の比較



※0系の電力消費量を100とした場合
※東京～新大阪間下りを最高速度220km/hまたは最高速度270km/hで走行した場合のシミュレーション

２．投入計画

・平成２４年度６編成、平成２５年度７編成の計１３編成。
・投入後は、ＪＲ東海所有の新幹線車両の約７割がＮ７００系タイプとなります。

３．概算費用

約６６０億円（車両製作費用、補修部品の費用を含む）

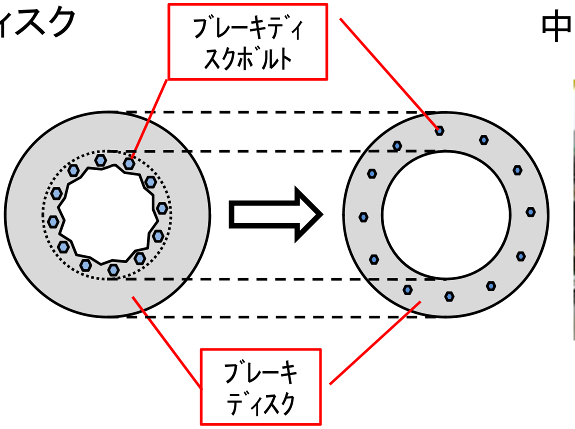
N700Aの特徴

別紙

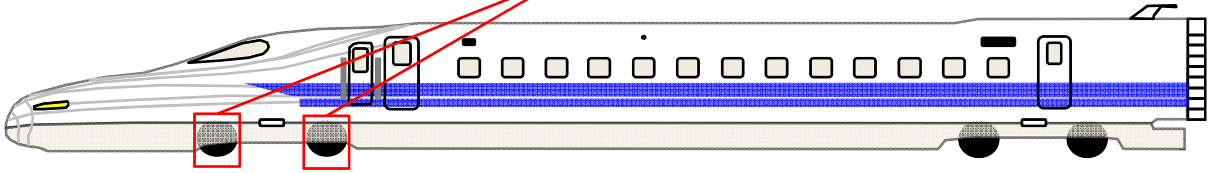
○中央締結ブレーキディスク

（現行）内周締結ブレーキディスク

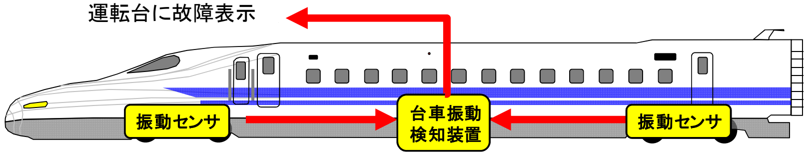
中央締結ブレーキディスク



安定した、より強いブレーキ力を実現

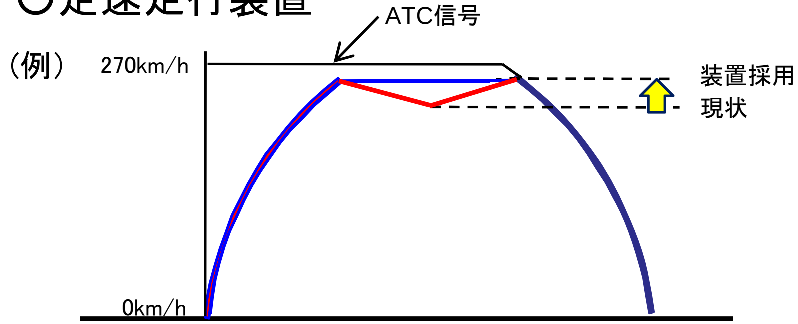


○台車振動検知システム



さらなる信頼性向上のため、全台車の状態を常時監視

○定速走行装置



ATC信号に沿った、より安定した運転を実現